

令和元年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園、むつ市宮薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町本町80-94
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	1. 旅行者及び住民の健康増進と保養の湯の提供に関すること。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関すること。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関すること。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関すること。 5. 露天風呂の施設の提供に関すること。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	7,902	6,933	△969
うち利用料金額	2,279	1,318	△961
うち指定管理料	5,613	5,613	0
支出合計 (B)	7,902	8,403	501
うち人件費	2,542	2,803	261
収支差 (A-B)	0	△1,470	△1,470
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	夏場の猛暑により水道料の増加、繁忙期に差し掛かる9月上旬から11月上旬まで温泉設備の不具合が相次ぎ、露天風呂及び足湯が使用できなくなりました。新聞やニュースに取り上げられたことも影響してか、温泉設備復旧後も客足の伸びが著しく低下したことが収入減少に繋がったと思われます。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	レストハウス	13,000	12,185	△815
	夫婦かっぱの湯	7,900	4,911	△2,989
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） 1. 観光客には、露天風呂や周囲の景観がとても良いと評価をいただきました。 2. 施設内の清掃や内装美化の維持に努めた結果、お客様に清潔感があって良いと好評でした。 3. 夏場は湯温が高い為、常に温度管理に努めました。 4. 夏から秋にかけて館内に侵入してくる虫の駆除を徹底しました。 5. 観光客には、提供する料理、スタッフの対応がとても良いと評価をいただきました。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利用 者 数	収 入	支 出
入浴ポイントカードの実施	23	0	0
収穫祭の実施	585	3	0
バスタオル・湯あみ着 貸出料	バ・172 湯・13	バ・52 湯・6	バ・18 湯・2

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	A
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	A
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

昨年に引き続き、ホームページやフェイスブック等で情報発信に取り組み、施設内の清掃や美化、スタッフの接客マナーに取り組んだ結果、お客様からの評価を得られました。また、冬期間に当館が閉鎖していると思われるお客様も多いことから、冬のイベントに出店し当館のPRを図りました。秋の観光シーズンにおいては、温泉設備の不具合の多発に伴い著しく収入が減少しました。3月下旬頃より新型コロナウイルスの影響が出始め、客足が伸び悩みました。

新型コロナウイルスの影響は来年度も続くと思われませんが、テイクアウトメニュー等を充実させ、お客様に喜んでもらえるように努力してまいります。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

フェイスブックやホームページでの周知活動やスタッフの接客マナー向上により、お客様から好評をいただきリピート率増加に繋がったと判断できる。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響により来客数の伸び悩みが見受けられるため、令和2年度は、積極的にこの状況を打破するための対策を講じていただきたい。